

小学2年1組 生活科学習指導案

指導者 大坂 慎也

【本時で目指す子どもの姿】

動くおもちゃについて材料や遊び方を考えながら作ったり、動くおもちゃをパワーアップさせるために話し合ったりすることを通して、動くおもちゃを作る楽しさや動力、遊び方についての気づきを高めている姿

【具体的な手立て】

動くおもちゃに対する子ども一人一人の思いや願いをとらえ、「どうしたいの?」「この前、〇〇したいって言ってたね」などと子どもの思いを引き出したり、「〇〇さんのおもちゃはどうなっているかな?」などと動くおもちゃ作りの視点を広げたりするはたらきかけをする。

- 1 単元名 うごけ!うごけ!ぼく・わたしのおもちゃ
—おもちゃランドで みんなであそぼう—

2 単元のねらい

身近にあるいろいろなものを利用して動くおもちゃを工夫して作ったり、作った動くおもちゃの遊び方を工夫したりして、動くおもちゃのおもしろさや不思議さを実感するとともに、動くおもちゃでの遊びを楽しむことができる。

3 授業の構想

(1) 以下に示すふりかえりは、全校活動「子どものお店」の後のふりかえりである。

今日、全活「子どものお店」がありました。(中略)ぼくは弓矢を作りました。紙が固くてなかなか切れなかったけど、6年生さんがすごく優しく、切ってくれました。うれしかったです。作ったら、みんなで遊びました。すごくよくとびました。みんなで競争したけど、ぼくは真ん中らへんでした。今度は1位がとれるように改良したいです。またおうちでも作ってみたいです。
(児童A)

児童Aのふりかえりからは、「すごく楽しかったから、また作りたい」という活動そのものに対する感想とともに、「6年生さんが、やさしく教えてくれてうれしかった」と、上学年の行為に対する思いを読みとることができる。子どもは、夢中になっておもちゃを作るとともに、それを用いて遊ぶことをとても楽しんでいて、また、活動を通して友だちとの関わりを楽しむ姿も見られた。そして、たくさん子どもが「いつか自分たちも6年生のように教える立場になってやってみたい」という思いももっていることが分かった。このように、おもちゃを作る活動に没頭し、友だちと関わりながら遊ぶ経験をするからこそ、「また、やりたい」「ぼくも、教えてあげたい」という思いや願いがうまれてきているのだと考える。

このような子どもの実態をふまえ、試行錯誤しながら動くおもちゃを工夫して作ったり、友だちと遊び方を考えて遊んだりすることを通して、動くおもちゃのおもしろさや不思議さに気付くとともに、遊び方を工夫しながらみんなで遊びを楽しむことで、自分や友だちの良さに気付くことができるような単元を構成していきたい。

(2) 本単元では、身近にある材料を使って動くおもちゃを工夫して作る楽しさを味わったり、友だち同士で作り方や遊び方を考えて遊ぶおもしろさを実感できるようにしたりする。その際、作っては遊び、遊んでは作るという、試行錯誤しながら動くおもちゃを何度も何度も作り直すというように活動を繰り返し行うことで、「今度は〇〇のようにしてみよう」「もっと良いやり

方を考えよう」という思いや願いを引き出すとともに、子どもの気付きをより深めることができるようになる。

また、おもちゃランドに招待する1年生に対して遊び方や作り方を教えたり、作ったおもちゃと一緒に遊んだりする活動を通して、自分の思いや考えを伝え、一緒に心を通わせることの楽しさやうれしさを実感することができるようにする。

そこで、本単元を構成するに当たっては、以下の4点を大切にしていきたいと考えた。

① 願いをかなえようとする問いが生まれる対象との出会わせ方

単元の導入として、子ども自身が「動くおもちゃを作りたい」と切実に願ったり作りたい動くおもちゃをイメージしたりすることができるようにする。そのために見本としての様々な動くおもちゃで遊ぶ活動を取り入れる。様々な種類のおもちゃで遊ぶことで、「動くおもちゃって、おもしろい」「わたしもこんなおもちゃを作ってみよう」「どんな材料を用意したらいいかな」という思いや願いが生まれるであろうと考える。

② 問いを追求できる学び方の獲得

動くおもちゃの制作や作ったもので遊ぶ段階において、「どうしたいの?」「こうするとどうなるかな?」と問いかけることを通して、子どものもっている「○○のようなおもちゃが作りたい」「もっと速く動くようにしたい」という思いや願いを引き出すことができるようにする。

③ 一人一人の追求を支える対話

子どもの「こんなおもちゃを作ってみよう」という思いや願いが実現するように、その時々の子どもの思いや願いをとらえることが大切である。子どもとの会話や子どもが書き記したものから子どもがこだわっていることやつきまわしていることを具体的にとらえて把握し子どもと関わっていくことで、子ども自身が問いを追求していける環境を整えることができると考える。

④ 学び合いの設定の工夫

動くおもちゃを作って遊ぶ中で、子どもは「もっとうしたら、よく動くかもしれない」「どうしたらよいか、分からないなあ」という気付きや迷いをもつであろう。また、「○○のような工夫をみんなに教えたい」「ちょっと分からないから教えてほしい」などという願いをもつであろう。そのような気付きや願いを一人のものにするのではなく、子どもを「ゴムの巻き方博士」「よく飛ばす博士」にし、お互いに教え合いながら個々の気付きが全体に広がるようにし、子ども一人一人の追求をつなげ、次の活動に向かっていくことができるようにする。

4 展開計画（全13時間 本時9/13）

次	時	主な学習と具体的な学習・内容	◇追求する子どもの姿
1	1 2・(課外) 3・4	○作りたい動くおもちゃを考えよう ・様々な動くおもちゃで遊ぶ。 ・動くおもちゃを探す。 ・作りたい動くおもちゃを考えて、計画書を作る。	◇自分が作りたいおもちゃを決めて、進んで計画書を作っている。
2	5・6 7 8・⑨	○動くおもちゃを作って遊ぼう ・身近な材料を使って動くおもちゃを作って遊ぶ。 ・作ったおもちゃで、みんなで遊ぶ。 ・動くおもちゃがもっとよく動くように工夫して作って遊ぶ。	◇試行錯誤しながら、動くおもちゃを作っている。 ◇友だちを関わりながら、動くおもちゃで楽しく遊んでいる。
3	10・11 12・13	○おもちゃランドを開こう ・1年生と一緒に遊ぶための準備をする。 ・1年生を招待し、一緒に遊ぶ。	◇1年生と一緒に、自分が作った動くおもちゃで楽しく遊んでいる。

5 本時の学習

(1) ねらい

自分が作った動くおもちゃをもっとよく動くようにするために、動かし方を考えたり、用いる材料に変化を加えたりして、おもちゃを工夫して作り遊ぶことができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
<p>1. 前時を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友だちがどのようなおもちゃを作っているのかを共有することで、動くおもちゃには様々な種類があることを知る。 十分な活動場所を確保するために、教室だけでなく廊下やテラスも活用する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>自分が作った動くおもちゃをもっとよく動くようにしよう</p> </div>	
<p>2. 動くおもちゃをつくる。</p> <p>3. おもちゃをもっとよく動くようにする方法を考え、伝え合う。 (作ったり遊んだりする活動の中で)</p> <p>○おもちゃのつくりについて (動力に関して)</p> <ul style="list-style-type: none"> 輪ゴムを増やしたらもっと早く動くかも。 風が当たるところをもっと大きくしたほうがいいよ。 もっと大きな磁石を使ったら、よく動きそうだよ。 <p>○動かし方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴムをたくさん巻いたらいい。 もっと強くうちわであおいだらいい。 もっと強く押すと早く進むよ。 <p>○おもちゃのつくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> タイヤの位置を変えると、もっとスムーズに動くよ。 軽くすると、早く進むかも。 	<ul style="list-style-type: none"> 「もっとよく動く」とは、速く・遠く・高くなどというように、視点を確認する。 友だちの考えを聞くことで、おもちゃをよく動くようにするためにはいろいろな方法があることに気付くことができるようにする。 「○○さんのやりかたもいいかも」「もっとこうすればよい」という考えを出し合うことで、今後の活動への見通しをもち、追求意欲を高めていく。 自分の考えが友だちにより分かりやすく伝わるように、実物を示しながら確認できるようにする。
<p>4. 考えを伝え合ったことをもとにして、自分の動くおもちゃの作りや遊び方を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちが言っていたことをもとに作ってみよう。 ○○さんの言うように、ゴムを太くしたらもっと飛ぶかも。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価の観点 (身近な環境や自分についての気付き)</p> <p>おもちゃをもっとよく動くようにするための方法について、友だちの考えも聞きながら、自分なりに考えたり、工夫して作ったりしている。</p> <p>【評価方法 発言、活動、ふりかえり】</p> </div>
<p>5. 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちがやっていたように、いろいろな方法を試してみて、ゴムの数を増やしたらよく飛ぶことが分かりました。今度は自分のおもちゃだけじゃなくて友達が作ったおもちゃでも遊んでみたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりを共有することで、友だちの考えも聞きながら作る楽しさを味わうとともに、いろいろなおもちゃで遊びたいという願いが高まるようにする。

